

牛糞堆肥を利用したマッシュルーム栽培方法

～大粒で高嗜好性のマッシュルームが生産可能です～

アピールポイント

牛糞堆肥を利用して、大粒で嗜好性の高いマッシュルームを安定生産する技術です。

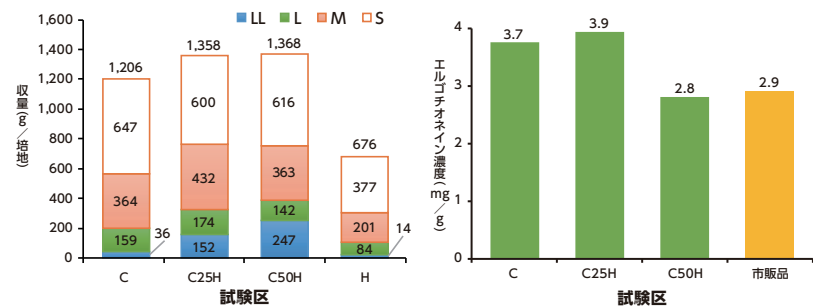


- ・従来の栽培方法では、小粒なマッシュルームが多く発生することから、大粒なマッシュルームを生産するためには間引きが必要です。
- ・牛糞堆肥を主体に、馬糞堆肥、アミノ酸、核酸を添加した培地により、大粒で嗜好性の高いマッシュルームの生産が可能となります。

発明の特長

牛糞堆肥を主体に、馬糞堆肥、アミノ酸、核酸を添加した培地により、収量の増加や大粒なマッシュルームの発生割合が増加しました。また、マッシュルームのエルゴチオネイン(強い抗酸化作用を持つアミノ酸の一種)濃度を増加させることができました。

試験データの一例(アミノ酸、核酸の添加なし)



C: すべて牛糞堆肥 C25H: 牛糞堆肥75%、馬糞堆肥25%
C50H: 牛糞堆肥50%、馬糞堆肥50% H: すべて馬糞堆肥 (%:w/w)

活用に向けて

- ・大量に発生する牛糞堆肥を有効活用することが期待できます。
- ・商品価値の高い、大粒で嗜好性の高いマッシュルームの効率的生産が期待されます。

基本情報

発明の名称	マッシュルーム栽培用培地およびマッシュルームの製造方法		
特許権者	道総研、MFフィード(株)		
特許番号	特許第6421913号		
出願日	平成26年5月15日	登録日	平成30年10月26日
実施許諾実績	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	発明場	森林研究本部 林産試験場

キーワード: マッシュルーム栽培、牛糞堆肥、高嗜好性